

京都市

モデル圏域 京都市圏域

地域と病院の共同実践

京都市では、精神障害にも対応した構築支援事業を取り組むにあたり・・・
平成17年度から、精神科病院からの地域移行支援を実施してきました。協議の場（実務者レベル）において取組内容の検討をはじめ、病院と事業所の橋渡しや、ピアサポーターの養成や派遣等による地域への啓発活動等を実施し、地域移行推進のための体制整備を図ってきました。
平成31年度からは構築支援事業を実施しながら、地域包括ケアシステムに係る様々な課題の解決に向けて協議を深めるため協議の場（代表者レベル）を見直し、行政・医療・福祉の共同実践による地域移行に向けた取組の推進を目指します。

1 令和元年度の達成目標と現時点での進捗状況

令和元年度の達成目標	現時点での進捗状況
1. 実務者会議の再構築	<p>H31.5 AD・担当者合同会議で方針の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務者会議を「協議の場」として再構築する方針を立てた。 <p>H31.7 AD・担当者合同会議で検討した方針の実行に向けた調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業担当課の所属長へ報告し、方針について合意を得た。 ・京都市AD会議を開催し、実務者会議での説明方法を検討した。 ・実務者会議において「協議の場」を当該会議に位置付けることについて合意を得るため、説明をした結果、次のとおり意見が出た。
2. 協議の場の新たな設置	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【実務者会議から出た主な意見】</p> <p>① 自立支援協議会との連携について整理が必要ではないか。</p> <p>② 出席者の位置付け(所属の代表として出席するのか、市内全支援センターや全病院の代表として出席するのか等)を明確にしてほしい。</p> </div> <p>H31.8以降 ① 自立支援協議会との連携方法について ② 出席者の位置付けについて 検討中。今後、検討結果をもって再度実務者会議において説明し、実務者会議を「協議の場」に再構築することの合意を得る等、準備をすすめる。</p>

2 圏域の取組における強みと課題

【特徴(強み)】

地域の事業所，医療機関，行政が定期的に協議する場があり，地域移行に積極的な事業所・医療機関とは連携がとりやすい環境である。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
地域移行・地域定着支援事業を行うための実務者会議となっているため，地域包括ケアシステムの構築に向けた課題等についての検討が困難な状況である。	実務者会議のメンバー構成と会議内容の検討を行う。	行政	検討中
		医療	
		福祉	
		関係機関・住民等	
現在，協議の場(代表者会議)を精神保健福祉審議会に位置付けて実施しており，具体的な協議が困難な状況である。	地域の課題を集約及び整理し，事業内容の評価及び地域包括ケアシステムの構築状況の評価を行えるよう，構成メンバーを充実させ，新たに協議の場を設置する。	行政	検討中
		医療	
		福祉	
		関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和元年度末)	見込んでいる成果・効果
実務者会議の再構築	設置している	再構築	実務者会議を見直すことで，効果的な地域包括ケアシステムの実施ができる。
協議の場の新たな設置	設置している	新たに設置する	システムの構築状況を評価し，課題解決に向けた検討ができる。

3 病院（医療機関）との連携状況

- 「地域移行・地域定着支援事業実務者会議」に精神科病院にも参加してもらい、毎月会議を行っている。その中で個別ケースについて課題を共有したり、地域移行について各病院に働きかけたり、ピアサポーターを病院に派遣したりして、地域移行の促進に取り組んでいる。
- 「各区こころのふれあいネットワーク」では、その区にある精神科病院やクリニック等に参加してもらい、各区の課題やニーズに応じた取り組みを行っている。

4 現時点での課題・悩み

- 「協議の場」を自立支援協議会に位置付ける場合、「精神障害者の地域移行・地域定着支援」に係る専門部会として設置し、自立支援協議会と連携している自治体が多い。これを踏まえ、自立支援協議会以外に「協議の場」を位置付けている自治体に対して、次のことについて質問したい。
 - ・ 自立支援協議会との役割分担
 - ・ 自立支援協議会との連携方法
 - ・ 「協議の場」に出席してもらう障害者地域生活支援センターの位置付け（圏域の代表として出席してもらう、支援センターの代表として出席してもらう 等）